

佐渡市消費者協会 コンポストの取組方法

1 容器を用意する	「容器のアイデア」参照
2 基材（培養土）と発酵促進剤を用意する	配布されたもの
3 容器の底から4分の1くらいの高さまで培養土を入れる	培養土を入れすぎるとかき混ぜるのが大変なので、はじめは少なめに
4 水気を切った生ごみを投入する	「投入物のアイデア」参照 一度に多く投入すると失敗するので、100gくらいから始め、分解の様子を見ながら少しずつ増やしていく
5 へらやスコップでよくかきまぜる	投入直後のほか、 <u>投入しない日も</u> 一日1回以上は必ずかきまぜましょう。 かきまぜるほど、よい堆肥になります。※力を入れすぎて容器を壊さないよう注意
6 洗濯ネット、布などで容器にフタをする	虫が入らないようフタをします 密閉すると微生物が死んでしまうため、通気性を保つ
7 投入物の内容、重さなどを記録用紙に記録する	記録用紙の記入例を参考に
8 攪拌（かき混ぜ）のみの場合も、記録用紙に記録する	
9 週に1回ほど、発酵促進剤を入れ、かき混ぜる	促進剤も少量から始め、分解の様子を見ながら調節。入れすぎないように注意しましょう。
10 生ゴミの投入開始後1～2か月経過し、分解が進まなくなったら投入をやめる（熟成）	熟成期間中も3日に1回程度、かき混ぜる
11 熟成期間に入り1か月ほどで堆肥が完成	よい堆肥はいやな匂いがなく、サラサラとして空気を多く含んでいます